

令和6年度 病院事務部の運営方針

病院事務部長

原中 達彦

病院事務部の組織体制	
病院総務課	医事課
経営企画課	

基本方針

菊川市立総合病院事務部は、令和5年度に策定した菊川市立総合病院経営強化プランに掲げた目標の達成に向けて、診療部・看護部・診療技術部と連携し、経営強化に取り組みます。

■果たすべき役割

急性期型地域多機能病院として、地域の救急及び急性期医療を担い、回復期・リハビリテーション機能及び精神科領域における医療機能を発揮して、地域住民の暮らしを支える「つなぐ医療」の役割を果たします。

■目指す病院像

- ・病院ビジョン
「急性期型地域多機能病院」として、地域の救急・急性期医療体制を堅持します。
「急性期型地域多機能病院」として、地域住民の暮らしを支える「つなぐ医療」を実現します。
- ・経営基盤の強化
職員一人ひとりが自らの意思で経営に参画し、持続可能でかつ、地域ニーズに柔軟に対応できる病院とします。

☆重点課題

- ①高齢者の入院受け入れ体制の強化
- ②外来診療の充実及び病診連携の推進
- ③整形外科領域の強化
- ④チーム医療の推進
- ⑤先制医療、在宅療養、在宅復帰支援の推進
- ⑥精神障がい者の支援体制の充実
- ⑦組織開発の促進と人材確保
- ⑧組織体制の見直しと業務改革・コスト削減

重点的に取り組む施策・事業

1 省エネルギー対策とコストの削減 (総務課)		7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	13 気候変動に 具体的な対策を			
現状・課題	昨年度から引き続き、エネルギー価格の高騰が続いており、病院経営に大きな負担となっています。また、令和5年度に新たな医師が赴任したことにより、手術件数をはじめ入院患者数が増加しており、医療行為の増加に併せて診療材料費の支出が増加しており、更なるコスト削減が急務となっています。					
	引き続き院内照明器具のLED照明への改修を行い、使用電力の削減を進めます。また、建物内の空調設備の最適化及び、職員への節電の取り組みの重要性の周知を行い、エネルギーの無駄を減らす取り組みを進めます。 診療材料の調達において、引き続き粘り強く材料供給業者との交渉を通じて、コスト削減を図るとともに、地域共同購入等の新たな価格削減手法について検討を進めます。					
取組内容						
						達成目標 節電の取り組みを行い、使用電力量を前年比3%削減します。また、診療衛生材料の価格交渉を行い、診療衛生材料費予算1%分(526万円)の価格削減効果※を捻出します。 ※価格削減効果 価格削減額×年間使用見込数

2 働き方改革の推進とタスク・シフト/シェアのための人材育成・確保 (総務課)	3 すべての人に健康と福祉を	17 パートナシップで目標を達成しよう	
現状・課題	2024年4月から始まる「医師の働き方改革」を維持運用していくため、地域における安全で質の高い医療を提供できるよう、医師の健康を確保し、毎月の時間外・休日労働時間数の管理や、必要に応じて面談を行うなど、健康管理に努める必要があります。また、タスク・シフト/シェアとして看護師や医師事務作業補助者による業務の代行補助を行えるよう、人材を育成、確保していく必要があります。		達成目標
取組内容	令和5年度に引き続き、毎月の時間外の把握に努め、医師の健康を確保し、医療の質・安全の確保に取り組みます。また、各種の専門性を活かして患者様により質の高い医療を提供するタスク・シフト/シェアを推進するため、業務の代行補助を行えるよう、人材育成と確保に取り組みます。		業務の代行補助を行えるよう、採用計画を基に、医師事務作業補助者、看護補助者の人材確保を行います。また、医師の一人当たりの時間外・休日労働時間を年間960時間以内とします。

3 公営企業会計システム更新の検討 (経営企画課)	17 パートナシップで目標を達成しよう		
現状・課題	現在導入している公営企業会計システムにおいて、利用するサーバー機器のサポートが終了したことにより、今後十分な保守サポートが受けられないことから、最新機器、OS等のソフトウェアに対応したシステムの更新を行い、システムの安定稼働を確保する必要があります。		達成目標
取組内容	機器及びシステムの更新により、老朽化に伴うリスクを軽減させるとともに、現行システムの機能仕様を基準としつつ、標準的なパッケージソフト及び標準化された技術等を活用し、カスタマイズを最小限に抑えた最新システムの導入により経費の抑制及び業務最適化を図ります。		最適機器及びシステムを選定し、システム更新に係るスケジュール表を作成します。

4 地域への積極的な情報発信 (経営企画課)	3 すべての人に健康と福祉を		
現状・課題	広報活動については、出前行政講座や健康セミナー、ホームページ等により、健康啓発・予防等に関する情報の発信に努めてきました。今後も、地域住民が必要とする情報を、正確にわかりやすく提供していく必要があります。		達成目標
取組内容	院内の広報活動に係わる委員と連携しながらホスピア増刊号やポスター等を作成・配布し、地域住民や施設に対して、健康啓発や菊川病院の事業について積極的に発信します。		病院広報紙ホスピアの定期発行、ポスターの作成により、健康啓発に取り組みます。

<p>5 家庭医の招聘 (経営企画課)</p>	<p>3 すべての人に 健康と福祉を</p> 	
<p>現状・課題</p>	<p>中東遠2次医療圏の慢性的な医師不足を解消するため、圏域内の自治体と連携して静岡家庭医養成協議会を立ち上げ、家庭医療を志す若手医師を全国から招聘し、地域に根差す医師の育成に取り組んできました。 今後更なる進展が予測されている超高齢社会において、本市独自の地域包括ケアシステムの構築のため、家庭医の定着と活躍の場の確保が求められています。</p>	<p>達成目標</p> <p>令和7年度採用研修医をサイト全体で3名以上確保します。 (令和6年度4月1日採用実績：4名)</p>
<p>取組内容</p>	<p>静岡家庭医養成協議会で家庭医の招聘を進め、その定着を推進します。</p>	

<p>6 経営強化プランの推進 (経営企画課)</p>	<p>3 すべての人に 健康と福祉を</p> 	
<p>現状・課題</p>	<p>中東遠2次医療圏にとって、当院の果たすべき役割は大きく、当院の医療提供体制を安定させることは、地域の医療環境全体の安定化と超高齢社会における安心・安全の確保に繋がるものです。令和5年度に策定した菊川市立総合病院経営強化プランを確実に進めていく必要があります。 また、全国的な人口減少や高齢化に伴う医療需要の変化に対応し、持続可能な地域医療提供体制を確保するためには、地域において果たすべき役割・機能を改めて見直し、明確化・最適化することが重要となります。</p>	<p>達成目標</p> <p>病床稼働率を72.7%以上、修正医業収支比率を87.8%以上とします。</p>
<p>取組内容</p>	<p>①高齢者の入院受け入れ体制の強化、②外来診療の充実及び病診連携の推進、③整形外科領域の強化、④チーム医療の推進、⑤先制医療、在宅療養、在宅復帰支援の推進、⑥精神障がい者の支援体制の充実、⑦組織開発の促進と人材確保、⑧組織体制の見直しと業務改革・コスト削減の8つの重点課題に取り組めます。</p>	

<p>7 診療報酬請求事務の適正化 (医事課)</p>	<p>3 すべての人に 健康と福祉を</p> 	
<p>現状・課題</p>	<p>診療報酬については、変動する社会や経済状況に応じるため2年ごとに改定されており、医療現場では、改定される内容に対応するためにその都度体制等の見直しを進めています。 令和6年度の改正は、医療機関やシステムベンダ等の負担軽減のため、4月1日施行から2ヶ月後ろ倒しにされ、6月1日施行が予定されているところでありますが、この改正対応には、診療報酬点数・施設基準等の見直しに関する情報を収集・分析し、その対策に関して院内関係部署が連携を強化し、早期に取り組む必要があります。</p>	<p>達成目標</p> <p>令和6年6月の期限日までに新規・変更のある項目の点検を行い、施設基準の届出を完了します。また、経過措置等の届出項目は、基準日までに点検を行い、施設基準の届出及びシステム設定を完了します。</p>
<p>取組内容</p>	<p>院内関係部署に情報を提供し、必要に応じて体制を整え、適切に施設基準の届け出を行います。</p>	